

(大) 益子 山崎
 (川) 渡辺 雄一 山田
 △三塁打 大内 (大) △二塁打
 山崎 (大)
 行てマ予3

(栃) 松本、大山 角田
 (行) 加藤、横田、益田、加藤
 関口
 △三塁打 山口2 (栃) △二塁打
 荒川、角田 (栃) 関口 (行)

(熊) 川田、小久保 川田、小久
 保、和田 青木
 (狭) 小林、佐々木、奥野、須藤
 渡辺

日高
 2482
 0010
 116

友光 (倉) 土屋2、内藤 (所)
 栃木下野A
 0113
 3111
 617



LSレディース 連続出場 大会初得点 昨年より成長

北関東LSレディースの選手たち

女子単体チームの北関東LSレディースが10月26日、フレッシュマン(1年生)大会に2年連続で登場。1回戦で熊谷Aに1-8で敗退したが、ほとんど何もできず和光に0-7で負けた昨年とは違い、試合内容は一方的ではなかった。四回に連打で好機をつくり、5番関口みなみのタイムリーで大会初得点を記録。三回まで1失点に抑えたエースの山口千沙季は「すく声が出ていて、一体感が今までで一番だった」と圧倒された昨年との違いを感じていた。

今年、南関東支部と東西東京支部の3支部からの4選手を加えた14人で活動し、大会前のオープン戦では男子チームと引き分けるほどに成長。主将の精松円果は「緊張もなく、楽しみながら強いチームと戦えるようになった」と手応えを感じ、ずっと目標に掲げてきた「男子から1勝」も現実味を帯びてきた。

実力をつけていることで、女子チームの見られ方も変わった。来年からはチーム増える予定で、富岡幸子監督は「関東連盟5支部での関東大会開催に1歩近づいた。女子部員の受け口をさらに広めていきたい」と北関東支部女子部長としての思いを話す。

北関東LSレディースの奮闘が、リトルシニア女子野球拡大のきっかけになっているのは間違いない。

(成川謙)

【北関東LSレディース所属選手】
 精松円果 (主将・和光) 藤原朋佳 (和光) 山口千沙季 (日高) 伊藤姫咲 (志木) 仁部希希 (川越) 栗原杏奈、大森聖香、見沢麗華、栗原史帆 (狭山) 印田汐里、草加杉本みな (相模原南) 名城季佳、横濱南 (関口みなみ (東村山) 衣川澤 (中野)

準決勝 野さ、野さ、川総、戦は、団野、が行、の五、亮、川総、野さ、野さ、準決勝

2014.11.6 埼玉新聞